

広島市立大学・筆の里工房30周年連携プロジェクト

研究期間／令和6年5月～令和7年2月

筆 墨 × Design

筆墨文化とデザインの融合

【目的】

時間や感情も伝わる筆跡に、デザイン思考を掛け合わせることに
より新たな筆跡表現の可能性を見出す。広島市の文化振興に貢献し
てきた広島市立大学と、日本の伝統文化と生活に根ざした産業で
ある筆の産地で、筆文化の振興を目的としてきた筆の里工房との
30周年連携事業として、特色ある地域の活性化を図る。

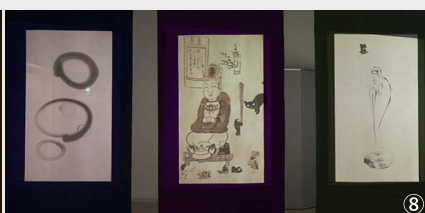
【研究・制作留意点】

広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科 現代表現領域、デザイ
ン領域の各分野と筆の里工房による「筆墨×デザイン」の共催展で
ある。筆墨を使った既成のデザインを展示するのではなく、各分野
の専門領域を活かし、デザイン思考で筆墨を活かした作品に仕上
げて展示するという実験的な企画を実現させた。

会期：令和7年2月22日～4月13日 入館者数／5,363人(約121人／1日)



① 告知フライヤー、② 筆の里工房入口、③ 書とモダンデザイン(立体造形分野)、④ HAIKU30(視覚造形分野学部生と安田女子大書道学科のコラボレーション)、⑤ 熊野高校学生によるワークショップ作品(視覚造形分野プロデュース)



⑥ 筆の里工場所蔵作品とのインスタレーション(現代表現分野)、⑦ 熊野高校学生によるワークショップ作品(視覚造形分野プロデュース)、⑧ 筆の里工場所蔵の禅画を素材としたアニメーション動画(映像メディア造形分野)

主 催 | 一般財団法人筆の里振興事業団
広島市立大学、中国新聞社
共 催 | 熊野町、熊野町教育委員会
後 援 | 広島県、広島県教育委員会、広島市
協 力 | 広島電鉄株式会社、呉信用金庫
広島県信用組合、もみじ銀行、広島銀行
特別協力 | 安田女子大学、広島県立熊野高等学校
ひろしま鯉のぼり